

音楽科学習指導案

指導者 松前 良昌

日時 平成29年11月18日(土) 第3校時(13:15~14:05)

年組 中学校第3学年2組 計39名(男子18名, 女子21名)

場所 中学校音楽教室

題材 合唱表現を工夫しよう! ~自分たちで高め合いながら

「大切なもの」 作詞・作曲:山崎朋子 混声四部合唱版編曲:松前良昌(校内用)

題材について

本題材では、歌詞の内容や曲想を理解し味わうことによって、生徒自らが自己のイメージや感情を意識し、協働して曲にふさわしい合唱表現を工夫していくことをねらいとしている。教材の「大切なもの」は、作者が中学時代を思い出しながら作った混声三部合唱曲であり、同時期の生徒の心情をよく表現している。歌詞の内容がわかりやすく、生徒一人ひとりが自分の思いをこめて表現できると考えられる作品である。さらに、旋律やコード進行などが親しみやすい、ユニゾンで始まっているので歌い出しやすい、ハーモニーが美しい、サビはア・カペラでの練習がしやすい、曲想の変化がつけやすいなど、生徒自らが自己のイメージや感情を意識して合唱表現を工夫して上達しやすい要素をもっている。ここでは授業者自らが混声四部合唱に編曲したものを使用することで、主旋律を受けもつパートを一部変えるなどの変化をさらに加えて曲想をつかみやすくするとともに、音域にも留意することで、より各パートの動きが見えるようにしている。

本校の生徒は、音楽に興味・関心をもっている生徒が多い。9月から実施した校内合唱コンクールの練習では、授業で全体練習の時間を多く確保できるように、生徒自ら放課後等にパート練習をするなど、意欲的かつ計画的・効率的に取り組んでいる。また、縦割り交流では、1年生を指導して下級生の模範となっている。授業では、1年生の時は教師の細かい指示を待っている状況であったが、3年生になってからはリーダーを中心に自分たちで合唱表現の工夫を考えるようになってきており、教師が助言をしなくとも自分たちで表現を工夫する基礎は身につけていると考えている。指導に対しての反応もよく、自ら考えて表現しようしたり、自分で詩の意味や曲の構成について調べたりする生徒もいる。本校では、個に応じた音域、バランスなどを考慮するとともに、より豊かな音の重なりをめざして第2学年から混声四部合唱に取り組んでいる。その結果、合唱にふさわしい発声が次第に身につけており、豊かな響きをもった質の高い演奏となってきている。しかし、技能面の向上の一方で、楽曲のどの部分でどの技能を活かして合唱表現を工夫するかを主体的に考えることは、十分ではない。また、自分がどのような発声や表情をしているかをなかなか自覚できない生徒もいる。

合唱表現では、作品に込められた作詩・作曲者の思いを汲み取り、解釈し、歌声で表すこと、つまり思考・判断し、表現することが求められる。その際に、身につけた技能、つまり“術”をどう活かすかを考え、どれを選択するか判断し、よりよい表現をするために実際に利用できることが必要となる。そこで、合唱スキルの効果的な指導のためのツールとして、タブレット端末の利用を試みることにした。主としてパート練習時に、自分たちの声をすぐに再生して聴いたり、顔の表情や口の開け方などを容易に自分で確かめたりすることができることを考えたからである。昨年度、はじめて取り入れたため、様々な問題点も見えてくると予想されるが、柔軟に対応することで、よりよい表現をめざして生徒がリーダーを中心として主体的に“術”を活用して合唱表現できるよう指導していきたい。また、練習方法や形態を工夫することにより、生徒の思考力

や判断力が求められる場面を増やし、高めさせていきたい。さらには、他のパートとのかかわりを意識させるとともに、声部の役割や全体の響きの調和を感じ取らせ、協働的な学びの中で“術”を活用して曲にふさわしい豊かな表現が工夫できるよう指導したい。

指導目標

1. 生徒自ら発声や音程・リズムなどの音楽的スキルを活用して合唱表現できるようにする。
2. 曲想や声部の役割や全体の響きを感じ取らせ、表現を工夫できるようにする。

指導計画（全4時間）

1. パート別および全体練習 2時間
2. 全体練習 1時間
3. まとめの表現 1時間（本時）

本時の目標

1. 自分の声の状態を理解し、音程・リズムなどの音楽的スキルを活用して歌唱することができる。
2. 曲想や声部の役割や全体の響きの調和を感じながら、表現を工夫して歌唱することができる。

学びを豊かにするための手立て

歌唱指導において、自ら音程や発声を容易に確認するためにタブレット端末等のツールを利用することにより、効果的に音楽的スキルを高め、そのスキルをもとに楽曲に対する自分の思いや意図を豊かに表現させる。また、その中で気づいた点をより活発に意見交換させ、協働的な学びの場をもつことによって、合唱表現をより工夫させることができると考えている。

学習の展開

学 習 活 動 と 内 容	指 導 上 の 留 意 点（◆評価）
<p>1. パート練習</p> <p><input type="checkbox"/>発声や音程、リズムなどに注意して、パート別に活動する。</p> <p><input type="checkbox"/>パートリーダーが中心となって活動する。</p> <p><input type="checkbox"/>必要に応じてタブレット端末を活用する。</p>	<p>○表現を工夫する“術”を助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腹式呼吸になっているか。 ・出だしの音からきちんと歌っているか。 ・息の流れがしっかり意識できているか。 ・発声法を意識して歌っているか。 ・口の開け方などは適切か。 ・発音を適切にしようとしているか。 ・音程を正しく歌おうとしているか。 ・リズムを正しく歌おうとしているか。 ・強弱などを考えて歌おうとしているか。など <p>◆自分の声の状態を理解しながら、音楽的スキルを活かして歌うことができるか。</p> <p style="text-align: right;">【音楽表現の技能】</p>

<p>2. 全体練習</p> <p>□主として生徒指揮，後に教師が指揮をする。</p> <p>□発声や音程・リズムなどに注意して歌う。</p> <p>□お互いの演奏を聴き合い，曲にふさわしい表現になっているかどうかを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローテーション形式 など <p>□歌詞の内容をもとに，協働して曲想に合った合唱表現を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指揮の指示 ・パートごとに生徒個々の曲のイメージなどを意見交換 <p style="text-align: right;">など</p> <p>□部分ごとに曲想の変化をつけて歌う。</p>	<p>○演奏の状態に応じて音楽的技能を活用した“術”を助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸法や発声法に気をつけているか。 ・音程，リズム，強弱などに気をつけているか。 ・子音の発音を工夫しようとしているか。 ・パートの声を揃えることを意識しているか。 ・他のパートを聴いて，ハーモニーやバランスをよくしようとしているか。 ・言葉の意味を伝えようとしているか。 ・曲想を考えて歌おうとしているか。 ・聴衆を意識して歌おうとしているか。など <p>○生徒の状況を常に把握することを意識する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめは，あえて抽象的に指示して，自分どう工夫するかを考えさせ，徐々にわかりやすく簡潔で具体的な指示をする。 ・生徒に最も適切な指示を選択する。 <p>◆歌詞の内容や曲想を考えながら，表現を工夫して歌唱することができるか。</p> <p style="text-align: right;">【音楽表現の創意工夫】</p>
<p>3. まとめ</p> <p>□通して歌う。</p>	<p>◆自ら考えた表現の工夫をいかして歌唱することができるか。</p> <p style="text-align: right;">【音楽表現の創意工夫】</p>

参考文献 文部科学省「中学校学習指導要領」，2017.

文部科学省「中学校学習指導要領解説 音楽編」，2017.

松前良昌・天野秀樹「協働的問題解決授業を実現する手立てについての事例研究—音楽科における授業デザインの提案—」広島大学附属東雲中学校，2017.

松前良昌・瀨本恵康・三村真弓「生徒が主体的・協働的に学ぶ音楽科授業の実践—タブレット端末を利用したパート練習の試み—」広島大学附属東雲中学校，2016.

松前良昌・瀨本恵康・三村真弓「基礎的な音楽的技能の効果的な指導法—3年間継続した発声指導の効果の検証—」広島大学附属東雲中学校，2015.

松前良昌・瀨本恵康・三村真弓「高次の学力を支える音楽的技能の効果的な指導法Ⅳ—比喩的表現を用いたキーワードによる発声指導の効果の検証—」広島大学附属東雲中学校，2014.

松前良昌・瀨本恵康・三村真弓「高次の学力を支える音楽的技能の効果的な指導法Ⅲ—比喩的表現を用いたキーワードによる発声指導の実践研究—」広島大学附属東雲中学校，2013.

三村真弓・松前良昌他『中学校・高等学校音楽科における聴取力育成プログラム開発のための基礎的研究—聴取力に着目した音楽科学力調査をとおして—』学部・附属学校共同研究紀要No. 39，広島大学学部・附属学校共同研究機構，2010.

参考資料 過去3年間の校内合唱コンクール 課題曲・各クラス自由曲

平成29(2017)年度

課題曲	大切なもの (1年:混声三部, 2・3年:混声四部, 3組:斉唱) 山崎朋子 作詞・作曲
1年1組	合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」より 1. サークスのうた 5. 動物を殺せ 10. ぞうれっしゃよはしれ 小出隆司 原作 / 清水則雄 作詞 / 藤村記一郎 作曲
1年2組	「11ぴきのネコ」合唱版より 十一ぴきのネコが旅に出た 魚見えたか節 魚の子守唄 ノラネコ天国ソング 井上ひさし 作詞 / 青島広志 作曲
2年1組	混声合唱組曲「友よ、君の歌を」より 5. 木よ、風よ、星よ みなづきみのり 作詩 / 千原英喜 作曲
2年2組	混声合唱曲 夜明けから日暮れまで 和合亮一 作詩 / 信長貴富 作曲
1・2・3年3組	COSMOS ミマス 作詞・作曲 / 富澤 裕 編曲
3年1組	混声合唱とピアノのための「祈りの虹」より IV. “ヒロシマにかける虹” 津田定雄 作詩 / 新実徳英 作曲
3年2組	混声合唱とピアノのための「くちびるに歌を」より 4. くちびるに歌を—Hab' ein Lied auf den Lippen— Cäsar Flaischlen 作詩 / 信長貴富 訳・作曲

平成28(2016)年度

課題曲	虹をこえて (1年:混声三部, 2・3年:混声四部, 3組:斉唱) 人見敬子 作詩・作曲
1年1組	青葉の歌 小森香子 作詞 / 熊谷賢一 作曲
1年2組	消えた八月 栄谷温子 作詞 / 黒沢吉徳 作曲
2年1組	混声合唱曲集「そのひとがうたうとき」より そのひとがうたうとき 谷川俊太郎 作詩 / 松下 耕 作曲
2年2組	混声合唱とピアノのための「新しい歌」より 新しい歌 García Lorca 作詩 / 長谷川四郎 訳詩 / 信長貴富 作曲
1・2・3年3組	ふるさと 小山薫堂 作詞 / youth case 作曲 / 松前良昌 編曲
3年1組	混声合唱曲「季節へのまなざし」より 4.ゆめみる 谷川俊太郎 作詩 / 信長貴富 作曲
3年2組	MASS (ミサ曲) より SANCTUS (聖なるかな) ミサ典礼文 / Steve Dobrogosz 作曲

平成27(2015)年度

課題曲	虹色の明日 (1年:混声三部, 2・3年:混声四部, 3組:斉唱) 田中理恵子 作詩・作曲
1年1組	混声合唱のための唱歌メドレー「ふるさとの四季」より ~故郷・朧月夜・われは海の子・村祭・雪~ 文部省唱歌〔高野辰之作詩/岡野貞一作曲(一部)]/源田俊一郎 編曲
1年2組	信じる 作詞:谷川俊太郎 / 作曲:松下 耕
2年1組	混声合唱とピアノのための曲集「初心のうた」より V. 泉のうた〔抜粋〕 IV. でなおすうた 木島 始 作詩 / 信長貴富 作曲
2年2組	混声合唱曲集「空に、樹に…」より 聞こえる 作詩:岩間芳樹 / 作曲:新実徳英
1・2・3年3組	世界に一つだけの花・花・花… 作詞・作曲:楨原敬之ほか / 編曲:松前良昌
3年1組	混声合唱のためのAgnus Dei = 空海・真言・絶唱〔抜粋〕 作曲:千原英喜 / 編曲:松前良昌
3年2組	Five Days that Changed the World (世界を変えた5つの日)より 作詞:Charles Bennett / 作曲:Bob Chilcott 1. Thursday 29 March 1455: The Invention of Printing (1455年3月29日(木):印刷の発明) 3. Monday 14 December 1903: The First Powered Flight (1903年12月14日(月):初の人力飛行)

※ 各クラスの課題曲・自由曲は、生徒の実態に合わせ、授業者が校内利用のために編曲している部分があります。